

## Preview

兵庫県政150周年記念事業

# 横尾忠則 在庫一掃大放展

2018年9月15日(土)~12月24日(月・振替休日)

休館日：月曜日[ただし9月17日(月・祝)、9月24日(月・振休)、10月8日(月・祝)、12月24日(月・振休)は開館、9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)は休館]

観覧料

一般700(550)円、大学生550(400)円、70歳以上350(250)円、高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体および前売料金

※障がいのある方(70歳以上除く)は各観覧料金の半額、その介護の方(1名)は無料

### 【関連イベント】

#### 歩くポップアート! チンドンが誘う美術の最高潮

出演：ちんどん通信社

日時：11月17日(土)15:00、18:00(2回公演)

会場：当館オープンスタジオ

参加費：無料

■美術館にチンドン屋さんが出現!

横尾忠則が幼少期を過ごした西脇をテーマに、スペシャル・ライブを行います。

ライブの前に近隣パレードも予定(詳細は当館HPにてお知らせします)

その他、ワークショップやキュレーターズ・トークを開催予定です。

各イベントの詳細は当館HPなどでご確認ください。

### 兵庫県立美術館 | 展覧会スケジュール

#### 特別展

ブラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光

2018年6月13日(水)~10月14日(日)

サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法

2018年10月27日(土)~12月24日(月・振休)

#### 県美プレミアム

小企画 | 美術の中のかたち 手で見る造形

触りがいのある犬 中ハシクシゲ

特集 | 県政150周年記念 ひょうご近代150年

収蔵品でたどるひょうごのあちこち、ひょうごのあの時この時

2018年7月7日(土)~11月4日(日)

—

小企画 | M氏コレクションによるJ・J・グランヴィル(仮題)

特集 | 類は友を呼ぶ

2018年11月17日(土)~2019年3月3日(日)

#### 注目作家紹介プログラム

一チャンネル9一和田淳展「私の沼」(仮題)

2018年11月3日(土・祝)~12月2日(日)

※兵庫県立美術館の特別展又は県美プレミアムの有料チケット半券ご提示で、当館の企画展を団体割引料金でご覧いただけます(詳細はHPなどでご確認ください)

#### 編集後記

暑さも落ち着き、いよいよ芸術の秋の到来です。当館では在庫一掃大放展が開幕を迎えました。

展覧会に合わせて、館内の雰囲気もいつもと少し違った様子…! 次号でたっぷりご紹介予定です。お楽しみに(尾崎)

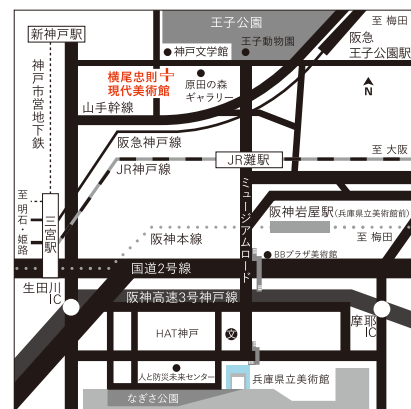
2012年の開館以来、横尾忠則現代美術館では様々な切り口から横尾芸術を紹介してきました。たしかに横尾さんの作品数は膨大で、その作品世界にはありとあらゆるもの、まさに森羅万象が含まれています。一方、我々凡人の発想には限りがあり、次々に展覧会のテーマを考えるのは正直たいへんです。そこで今回は、特定のテーマのもとに出品作品を選ぶのではなく、「横尾忠則現代美術館でこれまで展示したことのない作品」のみで展覧会を構成することにしました。題して「横尾忠則 在庫一掃大放展」です。

とはいえ、決して「在庫」=「不良在庫」ではありません。たまたま登場の機会がなかっただけで、魅力的な作品がまだまだありますし、これまであまり知られていなかった、横尾さんの意外な一面を伝える作品にも出会えるでしょう。さらに美術館全体を「特売セール会場」に見立てたユーモラスな演出を行い、関連イベントとして、なんとチンドン屋さんに登場してもらいます。一見ふざけているようですが、コンセプトよりも直観を重視する横尾さんの生き方や、横尾さんのインスピレーションの源である近過去(昭和)に対する眼差しを、この展覧会では立体的に体感していただけることと思います。

山本淳夫 | 本館学芸課長



横尾さんデザインのポスター  
1998年の絵画《終末的聖画安売》がもとになっています



Y+T MOCA

〒657-0837 兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30  
Tel: 078-855-5607(総合案内) Fax: 078-806-3888  
www.ytmoca.jp

横尾忠則現代美術館ニュース Vol.19

2018年9月11日発行

編集・発行：横尾忠則現代美術館

印刷：岡村印刷工業株式会社

# the Y+T Times

横尾忠則現代美術館ニュース

Yokoo Tadanori Museum of Contemporary Art NEWS LETTER



## Special Report 横尾忠則 画家の肖像

### Event Report

01 加橋かつみライブ

02 天台聲明ライブ

### Column

作品資料の保存と活用5

作品の展示方法~地震対策~

### Editors' Choice

01 アーカイブルーム

02 MUSEUM SHOP

### Preview

横尾忠則 在庫一掃大放展

### Information

次回展関連イベント

兵庫県立美術館 展覧会スケジュール

19

2018.9.11

### Topics

01 最近の横尾さん

02 歌舞伎役者の片岡秀太郎さんが  
来館されました





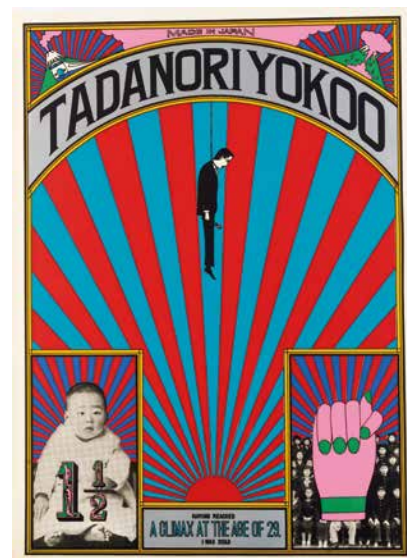
兵庫県政  
150周年記念事業

# 横尾忠則 画家の肖像

「画家の肖像」と題した本展は、2つの章から構成されています。第1章「未完の自画像」では横尾さんの自画像約70点を展示。1965年制作の《TADANORI YOKOO(自主制作)》がその出発点です。グラフィックデザイナーであった横尾さんの出世作ともいえる一見ポスター風のこの作品は、クライアントのない「自分自身のための広告」でした。大胆な旭日模様で中央で、薔薇を片手に首を吊っている男性こそが作家の姿です。当時の主流であったモダニズムに敢えて逆行する異端のデザインは大きな反響を呼び、このスタイルを踏まえた極彩色のポスターとともに、作家自身が注目されるようになります。雑誌やテレビ、映画出演等、活動

の場が拡大されると同時に、サイケデリックブームの到来が横尾さんを時代の寵児へと押し上げ、その姿はメディアに氾濫します。1960～70年代の「自画像」は第三者の目に映る虚像としての自身の姿が素材となっています。展示は1980年代に突入して色彩が一変します。1980年7月、ニューヨーク近代美術館で観たピカソの回顧展を機に画家転向への思いを強くした横尾さんは、デザインの手法によらないドローイングを描き始めます。本展には鏡に映る自分自身を描いた珍しい自画像をはじめ、入院中に見舞品や看護師、身の回りの物を題材とした日常的なスケッチが展示されていますが、これらは昨年横尾さんの

アトリエや当館のアーカイブルームから発見されたもの。1982年に大型絵画による個展を開催するまでに描きためたと思われるドローイングが未発表のまま残されていたのです。画家転向後の約10年間の作品からは、新たな様式を求めて試行錯誤する様子が窺えます。肉体を意識してパフォーマンスと絵画を直結させたり、鏡やオブジェ、切り裂いたキャンバス地を貼り付けたり、最新技術やコンピューターグラフィックを導入したり、様々な素材や手法を実験的に取り入れています。1990年代中頃からは、現在と過去、現実と物語の世界が折り重なり、キャンバスの中に多層的な



自画像の出発点  
《Tadanori Yokoo (自主制作)》1965年 | 作家蔵(当館寄託)



画家・横尾忠則誕生直前のドローイング



《無題(「たま、帰っておいで」シリーズより)》2014年 | 作家蔵

ヨコオワールドが展開します。自身の少年時代に創造の鍵を発見したのはこの頃で、故郷の記憶とともに過去の姿も描かれています。そして、2000年、故郷で撮影した一枚の写真から「Y字路」が誕生しますが、闇に浮かび上がる建物と二股に分かれる道が主役のこの連作には、自我を排除することで成立したという経緯があるせいか、自画像を含む作品は多くありません。自画像が登場するのはY字路が転機を迎える2006年頃のことです。近年は日常の延長のように気負いのない自画像が度々描かれるようになりました。とりわけ2014年に他界した愛猫「たま」を偲んで描き続けている「たま、帰っておいで」シリーズは、在りし日の「たま」と過

ごす日常の1コマを切り取ったアルバムのようなのです。ところが、本展のためにと届けられた最新作は私たちの予想を覆す最大級の自画像でした。展示されている150号の大作は、展覧会直前にわずか2日で描き上げられたもの。吊り下がった背後のロープは、1965年の自画像を思い起こさせます。「29歳で絶頂を極めて死んだ」という横尾さんの姿に代わって、ロープを背にした82歳の横尾さんが絵の中から私たちを見つめています。自己探求と自己表現の手段として横尾さんの自画像を眺めてみると、変遷も含めた全体が一つのプロジェクトではないかとさえ思えます。その変容の幅と多様性がヨコオワールドの豊潤さを生んでいるのだとすれば、源泉となっているのは、出発点と最新作が象徴するように、自身の存在を取り巻く生と死への関心、破壊と創造への飽くなき衝動なのでしょう。



グラフィック作品の中の自画像を一気に振り返ります



展覧会初日、最新作の前の横尾さん

べは彼らの画集や伝記でした。アンリ・ルソー、パブロ・ピカソ、フランシス・ピカビア、マルセル・デュシャン、アンディ・ウォーホルらの肖像には、画家と横尾さんとの関係を示す親密な情報が詰まっており、彼らへの私信のようにも感じられます。そして、師であり、仲間でもある先人たちへの敬意や共感、批評が散りばめられたバリエーション豊かな「画家の肖像」もまた、横尾さん自身を映す鏡のように見えてきます。1人の作家の作品とは思えないほどの多種多様な表現は、一見無節操にも映りますが、実は創造への真摯な態度と情熱の裏返しなのです。

平林 恵 | 本館学芸員



横尾さんが敬愛するフランシス・ピカビアや、画家転向のきっかけとなったピカソの肖像が引用された作品



# EVENT REPORT 01

## 加橋かつみライブ

2018年4月14日(土)16:00-17:00 | オープンスタジオ(1F)  
出演:加橋かつみ(Vo., G.), 珠希真利(Vc.)



白いギターを手に名曲の数々を歌う加橋さん

1960年代のグループ・サウンズ・ブームを牽引した「ザ・タイガース」の元メンバー、加橋かつみさんによるプレミアム・ライブが当館で開催されました。昨年の臨時休館の影響で一旦は中止となった本ライブですが、多くのお客様からの延期開催を望む声にお応えし、ついに半年越しの公演が実現しました!

満員の会場のなか、ステージに登場した加橋さんは、「廃墟の鳩」「僕のマリー」「落葉の物語」など、序盤から60年代のザ・タイガースのナンバーで観客を惹き付けると、「夕陽が泣いている」「フリフリ」など、親交の深かったかまやつひろしさんにちなんで、ザ・スパイダースの曲を次々と披露。後半からはチェロの伴奏が加わり、「ノーノーボーイ」「雨上がりて僕」「モナリザの微笑」、そして名曲「花の首飾り」などを歌い上げていきます。

曲の合間のMCでは、横尾さんとの興味深いエピソードも。2013年のザ・タイガースの再結成ライブに横尾さんが足を運んだことをきっかけに親しくされているというお二人ですが、じつは若

い頃、加橋さんと横尾さんはそっくりさんとして雑誌に取り上げられたことがあるとか。数年前、一緒に草津温泉を訪れたときには、横尾さんの方が「タイガースの方ですか?」と声をかけられたそうです(横尾さんはすかさず「違います、僕はジャイアンツです」と返したとのこと!)

ライブ終盤、「色つきの女でいてくれよ」をスタンディングで歌い上げると、最後のナンバーは「シーサイド・バウンド」。すぐさま上がったアンコールの声にも応え、約1時間、全14曲のステージを披露された加橋さんに、観客のみなさんから温かな拍手が送られました。

林優 | 本館学芸員



チェロが加わり演奏にも深みが増します



加橋さんの歌声に聞き入る満員の観客

# EVENT REPORT 02

## 天台聲明ライブ

2018年4月28日(土)15:00-17:00 | オープンスタジオ(1F)  
出演:天台聲明兵庫社会奉仕會

横尾作品における「死後の世界」をテーマにした展覧会「横尾忠則の冥土旅行」にあわせて、当館オープンスタジオで聲明の公演を行いました。「聲明」とは、お経に旋律や節をつけて唱える仏教音楽で、その調べはまさに荘厳なもの。普段なかなか接することのない貴重な機会に、当日は多くのお客様が来場されました。

エントランスから煌びやかな装束をまとった21名の僧侶の方々が現れると、会場は一気に厳かな雰囲気。重なり合う声の波が客席の空気を震わせます。今回ご公演いただいたのは「金剛界曼荼羅供(音用)」。本来は法要に際して行われる聲明ですが、今回はその音楽の部分のみを披露していただいた形です。とはいえ、舞台中央には金剛界曼荼羅の掛軸も設えられ、経文や讃歌を唱える声がか

会場中に響き渡ると、まるで儀式の場に立ち会っているかのような神妙な気持ちにさせられます。曲目は「云何唄(うんがばい)」「対揚(たいよう)」「五大願(ごだいがん)」など全9曲。途中の「散華(さんげ)」では、僧侶の方々が聲明を唱えながら客席を歩き、蓮の花びらをかたどった紙を観客にまき散らす場面も。厳粛でありながら心地よい響きに身を任せながら、仏教音楽の世界をたつぷりと堪能することができました。



散華に使用される花びら。如来像が描かれています



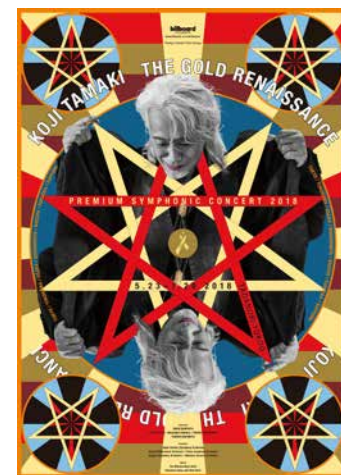
幾重にも重なる声の荘厳な響き

林優 | 本館学芸員

# Topics 01 最近の横尾さん

玉置浩二さんのコンサートポスター

玉置浩二さんのプレミアムシンフォニックコンサート「THE GOLD RENAISSANCE」のポスターを横尾さんが手がけました。2016年に続く2回目のコラボレーションです。オーケストラをバックにした玉置さんの歌声を実際に聴き、その際に感じたスケールの大きさが今回のヴィジュアルイメージに繋がっているとのこと。目を引く色彩とともに、中央には「スター」である玉置さんを象徴する星がデザインされています。



「THE GOLD RENAISSANCE」ポスター



『アホになる修行 横尾忠則言葉集』

『アホになる修行 横尾忠則言葉集』

横尾さんが様々なメディアを通じて発信してきた言葉を厳選し、まとめた『アホになる修行 横尾忠則言葉集』が刊行されました(イースト・プレス、2018年7月7日刊)。横尾さんが日常生活のなかで大切にしていることや制作活動について、飾らなくも鋭い言葉で語られています。一つ一つは短い文章なので、すいすいと読み進められるところもオススメです。

adidas × 横尾忠則 オリジナルデザイン

横尾さんと有名スポーツ用品メーカー「adidas」との夢のコラボが実現! 9月14日、三宮ゼロゲートにアディダス ブランドコアストアがオープンするのを祝し、横尾さんがオリジナルデザインを書き下ろしました。店舗では原画が展示されているほか、先着700名様(※)にオリジナルデザイン入りグッズをプレゼントいたします。(対象期日:2018年9月14日~10月31日)

※数量限定、15,000円+税以上ご購入が条件



adidas × 横尾忠則

最新展覧会情報

この秋は横尾さんの個展が続々と開催されます。

まずは、東京のギンザ・グラフィック・ギャラリーにて開催中の「横尾忠則 幻花幻想幻画譚 1974-1975」。本展では、瀬戸内寂聴さんの小説『幻花』の挿絵原画371点が展示されています。東京にて『幻花』原画全点が出展されるのは、初めてとなります。横尾さんのグラフィック・ワークの最高傑作のひとつを存分にお楽しみください。



「横尾忠則 幻花幻想幻画譚 1974-1975」ポスター



「横尾忠則 西脇幻想展-光るまち・光る記憶-」ポスター

(2018年9月5日~10月20日)

そして、9月28日からは西脇市岡之山美術館にて「横尾忠則 西脇幻想展-光るまち・光る記憶-」が開幕します。同館にて横尾さんの個展が開催されるのは、実に約5年振り。横尾さんの故郷である西脇の過去と未来についての想いをもとに描いた新作を含む展覧会です。(2018年9月28日~2019年3月24日/前後期・展示替えあり)

最後にご紹介するのは、少し離れたニューヨークでの個展です。アルベルツ・ベンダ・ギャラリーにて「Tadanori Yokoo: Death & Dreams」が現在開催中です。この個展では、当館の冥土旅行展でも出展された最新作の女性ポートレートシリーズや《Back of Head》《落下する女》などを中心に横尾さんの死と夢の世界を紐解きます。

(2018年9月6日~10月13日)

尾崎幸恵 | 本館学芸員補助



# Topics 02

## 歌舞伎俳優の片岡秀太郎さんが来館されました

横尾さんの交友範囲が非常に広いこともあり、当館には著名な方も来館されます。「横尾忠則 画家の肖像」展の内覧会には、歌舞伎俳優の片岡秀太郎さんから、事前に出席のご返信をいただいていた。片岡さんといえば、篠山紀信さんが1973年に撮影した横尾さんとのツーショット（「仮名手本忠臣蔵」より片岡さんがお軽に、横尾さんが勘平に扮した写真）や、1974年の横尾さんのポスター作品などが思い出されます。片岡さんがオープニングにご出席される旨を横尾さんに伝えたところ、ちょっとしたサプライズを用意することになりました。オープニングに備えて、当館のミュージアムショップには横尾さんデザインによる「画家の肖像」展のポスターがずらりとディスプレイされていたのですが、1点のみ上記のポスター作品「片岡秀太郎（片岡秀太郎後援会）」に掛け替えられました。そして迎えた開会式。司会者が来賓の片岡さんをご紹介した瞬間、客席から「松島屋!」の掛け声が。拍手に応じる片岡さんの柔和な、しかし凛とした物腰と相まって、美術館が歌舞伎座に早変わりしたかのような、楽しいひとときとなりました。



山本淳夫 | 本館学芸課長

1974年と2018年の片岡秀太郎さん。時空を超えた共演です

## Column 作品・資料の保存と活用5 作品の展示方法 ～地震対策～

2018年6月18日午前7時58分、大阪府北部周辺で最大震度6弱の地震が起きました。横尾忠則現代美術館の建つ神戸市灘区も震度4を計測しましたが、同日が休館日だったためお客様への被害もなく、作品も無事でした。翌日19日は通常通り開館しました。

2011年に東日本大震災、2016年には熊本大地震、横尾忠則現代美術館の前身である兵庫県立近代美術館も阪神・淡路大震災を経験しています。地震対策は日本の美術館が避けては通れない大きな課題です。



ドッコ壁側



ドッコ作品側

地震から作品を守る方法の1つに、ポスターや絵画を展示する際のドッコの使用があります。ドッコとは作品側と壁側にそれぞれ斜めにカットした当て木を取り付け、互いに引っかけることで、作品を掛けることができる仕掛けです。作品が壁に密着するので、紐やワイヤーで飾る時のように作品が前に傾かず、垂直に飾ることができます。当館では汎用額にドッコと吊り金具を併用することで、今回のような地震が起きた際にも作品が大きく揺れるのを防いでいます。作品をより見やすく、より安全に展示するための小さな工夫です。

津崎みぎは | 本館学芸員補助

## Editors' Choice 01 アーカイブルーム

「オペラ横尾忠則を歌う」は、横尾忠則さんと現代音楽の作曲家・一柳慧（いちやなぎ とし）さんとのニューヨークでの交流がきっかけとなり生まれました。1967年にニューヨークへ初めて渡った横尾さんは、4ヶ月間の滞在の中でサイケデリック・ムーブメントの洗礼を受けロックに夢中になります。そして、すでに当地に住み音楽活動をしていた一柳さんと会い、ほぼ毎日行動を共にするようになります。一柳さんの紹介で、ジャスパール・ジョーンズやロバート・ラウシェンバーグら同時代のアーティストと出会ったのもこの時期のことでした。横尾さんは『横尾忠則マガジン VOL.2』の中



「オペラ横尾忠則を歌う」(ジ・エンドレコード) 1969年  
「横尾忠則 画家の肖像」展示風景より

で、「サブカルチャーのサイケデリックと、ファインアートのポップアートがブレンドされ」両者を結びつける挑戦として「オペラ横尾忠則を歌う」の制作を考えたと述べています。

横尾さんのデザインが施された2枚組両面カラーのレコードには、高倉健さんが歌う「網走番外地」の替え歌「高倉健、横尾忠則を歌う」や内田裕也とザ・フラワーズの演奏などが収められています。外見も中身も贅沢な、当時の若者文化の空気をも内包した作品です。



『横尾忠則マガジン VOL.2』(1999年、平凡社)  
「特集・耳を立てる」では、横尾さんの音楽遍歴なども知ることができます。  
マガジンは6号まで刊行され、各号で視覚・聴覚などの五感に加え第六感をテーマとした特集が組まれました

奥野雅子 | 本館学芸員補助

## Editors' Choice 02 MUSEUM SHOP

お待ちせしました! 大人気のため完売状態がつづいておりました「魔除猫フィギュアストラップ」ですが、このたび、サイズもカラーもバージョンアップして帰ってきました。神仏と猫を合体させて生み出された神秘的な招き猫のストラップをぜひ身につけてみませんか。全8種に加えてスペシャルカラーが2種類、どれが当たるかはお楽しみです。

もうひとつのオススメは、今年の春に入荷したマスキングテープです。横尾さんの



数に限りがありますので、気になる方はお早め!

のポスターデザインやイラストレーションを元にデザインされた3巻がセットになっています。おしゃれな外箱に入っていますので、そのまま飾っても素敵ですが、お手持ちのいろいろなものをデコレーションするのも良いですね。ぜひ当館ミュージアムショップにてご覧ください。



魔除猫の色に合わせて、それぞれの紐紐の色も異なります

尾崎幸恵 | 本館学芸員補助